平成３１年度　修学旅行見積仕様書

１　旅行期日　平成３２年１月２１日（火）～２４日（金）（３泊４日）
　＊日程の都合で、上記日程でのみ検討したい。

２　学科の特性に応じたキャリア教育を実施できる地域

＜地域未来探究科の教育目標＞

①共通教科の学習をとおして、幅広い教養とともに課題解決に向けたものの見方や考え方についての知識や技術を身につけさせ、急速な社会変化に対応できる力を育む。

②課題解決に向けた学習への取り組みをとおして、主体性や合理性などを身につけさせるとともに、倫理観を持って社会の発展に貢献できる能力を育む。

③地域社会との積極的な交流活動をとおして、地域への愛情を深めさせ、望ましい人間関係を構築する力を身につけさせるとともに、将来の地域社会の発展を担う能力を育む。

＜商業科の教育目標＞

①会計分野を中心に、商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させることをとおして、企業活動を分析する知識と技術を習得させ、経営活動の実態を検証する力を育む。

②生きた実学を身につけさせるため、地域社会や企業などとの積極的な交流活動を実施し、主体性や創造性などを身につけさせるとともに、急速な経済社会の変化に対応できる力を育む。

③職業人としての倫理観や企業家精神などを身につけ、望ましい人間関係を構築する力を身につけさせるとともに、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育む。

＜情報処理科の教育＞

①ビジネス情報分野を中心に、商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させることをとおして、社会や将来に関する課題などについて、情報及び情報技術を活用して解決する能力と態度を育む。

②生きた実学を身につけさせるため、地域社会や企業などとの積極的な交流活動を実施し、主体性や創造性などを身につけさせるとともに、急速な情報化に対応できる力を育む。

③職業人としての倫理観や企業家精神などを身につけ、望ましい人間関係を構築する力を身につけさせるとともに、地域産業をはじめ情報社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育む。

３　費用　　79,000 円以下

４　参加予定人数　４クラス　男子生徒２５人　女子生徒８２人　引率教師７人（計１１４人）
　※１組地域未来探究科１５名（男子６名、女子９名）
　　２組商業科２５名（女子２５名）、３組商業科２５名（男子２名、女子２３名）
　　４組情報処理科４２名（男子１７名、女子２５名）

５　目的　キャリア発達にかかる能力の育成

（１）グローバルな視点で、経済や産業状況、伝統芸能や様々な文化、芸術に触れ、見聞を広めることによりこれまで学んできた教科学習を充実・発展させるとともに、今後の教科学習の充実・発展に役立てる。

（２）職業・産業の動向について多面的・多角的に情報を集める力を養い、必要な情報を選択・活用することで、時代の変化に対応できる能力を育成する。

（３）国内、及び国外からも注目されている関西地区の施設を利用し研修を行い、多様な職業観・勤労観を理解し、職業・勤労に対する理解・認識を深め、自己理解の深化による自己受容の心を育成する。

（４）団体行動、集団生活を体験させることによって、健康管理、集団規律の意義、公衆道徳などについて学び、責任と秩序ある態度を身につけさせる。

（５）事前の研修において、研修目的を達成するための計画を考察する企画立案能力とともに、計画どおりに実施するための時間を計る能力、計画外の事象が発生したときの問題解決能力を、実践的に身につける。

（６）研修旅行先で教師や学友と生活を共にする事で、どのようにすれば楽しい共同生活ができ、友情を深め、信頼できる関係を作ることができるかを学び、豊かな人間関係を築きながら自己の成長を果たす能力を育成する。

６　交通機関　　航空機、鉄道、貸切バス、フェリー、その他

７　交通手段の条件
　　天候等によりキャンセルが考えられるので、当初より代替案も考えておく。

８　見学地等の条件
（１）一般客との競合を避け、十分な研修ができること
（２）研修に応じた案内を確保すること
（３）宿舎から見学地までの移動時間が少ないことが望ましい
（４）研修中心の旅行となるよう充実できる研修先を設定すること
（５）その他内容については、キャリア形成に効果的なプランを準備すること
　　別紙：キャリア発達にかかる諸能力（４領域８能力）参照

９　宿舎等の条件
（１）安全・衛生・環境が配慮され、消防法の定める安全基準を満たしている施設であること。
（２）分宿・他校と同宿の場合は、同一フロアは避けること。
（３）旅行中の安全と健康に配慮し、疲労回復のため十分な広さを確保すること。また、全員が同時に集合できる部屋（スペース）があること。
（４）浴場が衛生的で十分な広さが確保されていること。
（５）観光バスの駐車場（必要台数分）が確保されていること。
（６）食事は、１泊２食（夕・朝食）つきで、献立のバランス・調理方法、衛生面の配慮がなされ変化に富んでいること。また食品アレルギーの生徒には、別メニューで対応できること。
（７）医療機関等が近くにあり、生徒の怪我や病気等、緊急時に対応できること。

１０　食事について

	朝食	昼食	夕食
１日目	各家庭で準備	各家庭で持参弁当を準備	ﾎﾃﾙ(旅行業者)が準備
２日目	ﾎﾃﾙ(旅行業者)が準備	生徒各自で購入	ﾎﾃﾙ(旅行業者)が準備
３日目	ﾎﾃﾙ(旅行業者)が準備	生徒各自で購入	ﾎﾃﾙ(旅行業者)が準備
４日目	ﾎﾃﾙ(旅行業者)が準備	弁当(旅行業者)が準備	各家庭で準備

※初日は早朝に出発し、北九州で３カ所程度研修・見学を実施。夕方より関西地区へ移動

１１　安全・事故防止対策等について、次の事項を書面で提出すること
（１）事故防止及び安全対策
（２）連絡文書
（３）添乗員名簿（「旅館管理業務を行う主任者」・「資格習得者証」（１人のみでも可）を提示すること。）
（４）貸切バス（営業登録しているバスであること。）
（５）食事内容・衛生
（６）旅行傷害保険
（７）物損保険

１２　その他遵守事項
（１）添乗員は、４人以上であること。（女性添乗員を２人以上とする。）また、看護師１人（女性）を同行するものとする。
（２）バスは、同一会社とし、バスガイドはバス１台に１人を添乗させること。
（３）見積書は、平成３０年１１月２１日現在の料金で作成すること。
（４）見積提出時にできる限り宿泊施設名を記載すること。
（５）見積書の金額は、１人当たりの総費用（消費税込）とする。
（６）見積書は、１５部提出すること。
（７）必要に応じて事前資料の提出及びヒアリングに応じること。
（８）旅行積立金の計画を作成すること。

１３　見積提出年月日　　平成３０年１１月２０日（火）まで必着（送付可）

１４　添付書類
（１）旅行行程表
（２）関係資料
（３）見積費用明細書
（４）積立金計画書

１５　修学旅行業者説明会（ヒアリング）
（１）日　　時　　平成３０年１１月２７日（火）　午後１８時００分
（２）場　　所　　本校会議室
（３）説明時間　　各社２０分（説明１７分、質疑３分）：制限時間厳守

１６　決定
　１２月上旬頃各社に文書で通知。旅行費用のみでは決定いたしません。修学旅行における所期のキャリア教育の目的を十分に発揮できる旅行内容をお願いします。

１７　連絡先
〒868-0303　熊本県球磨郡錦町西１９２
熊本県立球磨中央高等学校　１学年主任　森　広明
ＴＥＬ0966-38-2052　　ＦＡＸ0966-25-2125

キャリア発達にかかる諸能力（4領域8能力）から

職業的発達の段階			現実的探索・試行と社会的移行準備の時期
職業的発達課題			・自己理解の深化
（説明）各発達段階において達成しておくべき課題を、進路、職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面から捉えたもの			・選択基準としての職業観・勤労観の確立
			・将来設計の立案を社会的移行の準備
			・進路の実現と試行的参加
職業的発達に関わる諸能力			職業的発達を促すために育成することが期待される具体的な能力・態度
領域	能力	能力説明	
人間関係形成能力	自他の理解能力	自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力	・自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする
			・他者の価値観や個性のユニークさを理解し、それを受け入れる
			・互いに支え合い分かり合える友人を得る
	コミュニケーション能力	多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力	・自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意思等を的確に理解する
			・異年齢の人や異性等、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る
			・リーダー・フォローアップを発揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める
			・新しい環境や人間関係を生かす
情報活用能力	情報収集・探索能力	進路や職業などに関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力	・卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する
			・就職後の学習の機会や上級学校卒業時の就職等に関する情報を検索する
			・職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続き・方法が分かる
			・調べたことなどを自分の考えを交え、各種メディアを通して発表・発信する
	職業理解能力	様々な体験などを通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならないことなどを理解していくの能力	・就業等の社会参加や上級学校での学習等に関する探索的・試行的な体験に取り組む
			・社会規範やマナーなどの必要性や意義を体験を通して理解し、習得する
			・多様な職業観・勤労観を理解し、職業・勤労に対する理解・認識を深める
将来設計能力	役割把握・認識能力	生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連などを理解し、自己の果たすべき役割についての認識を深めていく能力	・学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす
			・ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する
			・将来を設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する
	計画実行能力	目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動で実行していく能力	・生きがい。やりがいがあり自己を生かせる生き方や進路を現実的に考える
			・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する
			・将来設計、進路設計の見直し再検討を行い、その実現に取り組む
意思決定能力	選択能力	様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりしして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力	・選択の基準となる自分なりの価値観、職業観・勤労観を持つ
			・多様な選択肢の中から、自己の意思と責任で当面の進路や学習を主体的に選択する
			・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性について検討する
	課題解決能力	意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自らの課題を設定してその解決に取り組む能力	・将来設計、進路希望の実現を目指して、課題を設定し、その解決に取り組む
			・自分を生かしその役割を果たしていく上での様々な課題とその解決策について検討する
			・理想と現実との葛藤経験等を通し、様々な困難を克服するスキルを身に付ける